

# 分析結果報告書〔3〕 1 / 2

## 1.3 水質試料1 (砒素)

機関コード	
機関名	
電話番号	
国際的な認証等の取得（複数回答可）	1. ISO 9001～9003 2. ISO 14001 3. ISO/IEC 17025(ガイド25) 4. M L A P 5. 環境省が実施するダイオキシン類の請負調査の受注資格
分析主担当者名	
分析主担当者の経験年数	( )年
分析主担当者の実績（年間の分析試料数）	( )

回数	分析結果 (mg/l) 注1)	
	検出下限値以上 注2)	検出下限値未満での検出下限値 注3)
1回目		
2回目		
3回目		

注1) 一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

注2) 検出下限値以上であった場合、分析結果を有効数字3桁で記入する。

注3) 検出下限値未満であった場合、検出下限値を有効数字1桁で記入する。

分析開始月日	月 日
分析終了月日	月 日

分析方法	1. 水素化物発生原子吸光法 2. 水素化物発生ICP発光分光分析法 3. その他( )
使用した水	1. 蒸留水 2. イオン交換水 3. 超純水 4. その他( )

< 前処理 ( 試験溶液の調製 ) >

試料量	( ) ml
前処理に用いた酸の量 硝酸	( ) ml
硫酸 (1+1)	( ) ml
注4) 過マンガン酸カリウム溶液3 g/l)	( ) ml
過塩素酸	( ) ml
塩酸	( ) ml
前処理後の定容量(試験溶液量) 注5)	( ) ml

注4) 使用しなかった場合には、「0 (ゼロ)」とする。

注5) 定容としなかった場合には、記入しない。

# 分析結果報告書〔3〕 2 / 2

<水素化物発生原子吸光法及び水素化物発生ICP発光分光分析法>

試験溶液の分取量	注1)	( )ml
予備還元等に用いた試薬 (酸を除く)	よう化カリウム 塩化不 <sub>2</sub> (II) 鉄( ) 臭化カリウム アスコルビン酸 その他の試薬	1.使用する 2.使用しない 1.使用する 2.使用しない 1.使用する 2.使用しない 1.使用する 2.使用しない 1.使用する 2.使用しない ( )
予備還元後の溶液(定容量)	注1)	( )ml
予備還元後の溶液の液性 (概略濃度)	塩酸濃度 硫酸濃度	( )mol/l ( )mol/l
還元剤		1.亜鉛粉末 2.ナトリウムほう酸ナトリウム(水素化ほう素ナトリウム) 3.その他( )
導入方法		1.連続式 2.貯圧式 3.その他( )
原子吸光分析装置	バックグラウンド補正 測定波長	1.行わない 2.重水素ランプ 3.偏光ビーム 4.その他( ) ( )nm
ICP発光分光分析装置	装置の型式 バックグラウンド補正 超音波ネブライザの使用 測定時間 測定波長	1.波長走査(シーケンシャル) 2.波長固定(マルチ) 3.その他( ) 1.行う 2.行わない 1.使用しない 2.使用する ( )秒 ( )nm

注1) 分取しなかった又は定容としなかった場合には、記入しない。

<検量線の作成等>

定量方法	方法	1.絶対検量線法 2.標準添加法 3.内標準法
	内標準法: 内標準物質の種類	1.イットリウム 2.インジウム 3.タリウム 4.ビスマス 5.その他( )
検量線	作成点数 作成範囲 最高濃度の指示値	( ) 最小( ) ~ 最大( ) 注2) ( )
試料の指示値		( )
空試験の指示値		( )
検出下限値		( ) mg/l 注3)

注2) 分析装置で測定する溶液中の濃度(mg/l)を示す。

注3) 試料中の濃度(mg/l)を示す。

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点	
--------------------------	--

計算式	
-----	--